

秋期の大学生活について

～対面授業における感染防止マニュアル～

新型コロナウイルスの感染者数は、増減をくり返しながら増え続けています。さらに、一定の割合で感染しても無症状の人がいて、自分が知らない間に周囲の人を感染させてしまうことがあります。

大学内で対面授業が開始されると、これまで以上に感染予防に気をつける必要があります。学生の皆さんが安心して学生生活を送るため、今一度、感染に関わる注意点を確認してください。

【感染予防について】

- ・秋期開始の概ね 10 日前から、検温による体調管理を行い「体調管理表」に必要事項を記入し登校しましょう
- ・手洗い、手指の消毒、マスク着用、3 密（密閉・密集・密接）の回避など、新型コロナウイルス感染を予防する生活を続けることが大切です
- ・軽い風邪症状（頭痛、咳だけ、のどの痛みだけ、発熱だけ、だるさなど）でも外出を控えましょう
- ・持病のある人、家族に高齢者のいる人は特に感染予防に注意を払ってください
- ・風通しの悪い空間で人と人とが近い距離で話す下記の場所やイベントにはできるだけ行かないようにし、感染防止対策をしていない店舗の利用は控えましょう
 - ＊ライブハウス、カラオケボックス、クラブ、友人宅での大人数での集まりなど
- ・イベントに参加したり、飲食店等を利用する場合は、「大阪府コロナ追跡システム」の QR コードが表示されていればそれをスマートフォンで読み込み、厚生労働省新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」をインストールしておいて、感染者との接触を確認できるようにしましょう
- ・新しい生活様式（厚生労働省 HP 掲載）の実践を心がけましょう（詳しい内容は、最後のページにあります）

【授業を受ける際の注意点】

- ・北門から入退出を行います。体温測定を忘れた人は、北門警備員室にある非接触型体温計で検温して下さい
- ・なるべく階段を使用し、車椅子利用者や台車使用者等に配慮してエレベーターの利用は控えましょう
- ・エレベーターを使用する場合は、密にならない人数で乗りましょう
- ・教室では表示に従って着席し、必ずマスクを着用して会話を控えましょう
- ・換気する際には教員の指示に従い、協力しましょう

- ・学内に設置された消毒液とペーパータオルで随時、机や椅子などを消毒して使用しましょう

【施設・設備の利用】

- ・共用エリア、講義演習室、図書館、情報処理室、サポートスクエア、食堂、ラウンジ、トイレ（パウダールーム）、階段、エレベーターは、メンテナンス業者が最低一日一回、ドアノブ等の消毒を行います。また、可能な限り、扉・窓を開放して換気を行います
- ・情報処理室にあるPC および機器の使用方法、実験・実習の用具等の取り扱いは、ガイドラインまたは教員の指示に従い、使用後は各自で消毒を行って下さい
- ・トイレのブースがすべて使用中の場合は、トイレの外で順番を待ちましょう
- ・トイレ使用後は便器の蓋を閉めてから洗浄しましょう
- ・適切な距離を保つため、ラウンジや共用スペースの椅子等は一部撤去し、減数します

【休憩時間・昼食時の過ごし方】

- ・ラウンジやカフェは、指定された座席に座れる人数で利用し、長時間にわたって同じ場所にとどまらないようにしましょう
- ・教室で昼食をとる際は、昼食の前後に手を洗い、各自で机を消毒して下さい
- ・飲食中は向かい合う位置での会話を控え、食べ終わったら速やかにマスクを着用しましょう

【食堂・購買等の利用について】

- ・混雑時は、入場者数の制限を行うことがあります
- ・入退出やレジに並ぶ際、フロアマーカー等に従って前後の人との間隔を保ちましょう
- ・表示等に従い間隔を空けて着席し、食事をしましょう
- ・大声での会話を控え、食事や物品の購入を終えたら速やかに移動しましょう

【課外活動・学生プロジェクト活動について】

- ・それぞれのガイドラインをよく読み、その内容に従って活動の申請をしてください
- ・活動終了後は各ガイドラインに定められた報告書を提出してください
- ・体調不良やトラブルが起きた際は、それぞれの活動の担当部署（ガイドライン発行部署）に速やかに連絡してください

【サポートスクエア、事務局について】

- ・各カウンターで直接対応しますが、電話・オンライン・郵送等での学生の皆さんへの支援も併用します

【感染可能性の判断について】

- 時期や地域によって、新型コロナウイルスに感染する可能性が異なります。自分の住んでいる地域の流行状況をしっかりと把握しておくことが重要です
- 日頃から健康に自信があっても、体調不良を軽く考えず、慎重に行動しましょう

【新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合】

- 直ちに大学の保健室に連絡してください
 - * 電話：06-6723-8352
 - メールフォーム：<https://www.osaka-shoin.ac.jp/index.php/univ/inquiry/>
- かかりつけ医か帰国者・接触者相談センターに連絡して相談しましょう
- 帰国者・接触者外来に受診が必要とされたら、マスクを着用し、なるべく公共交通機関を使わずに病院を受診しましょう

「新しい生活様式」の実践例

（１）一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の３つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- ☐ 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- ☐ 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- ☐ 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する。ただし、夏場は、熱中症に十分注意する。
- ☐ 家に帰ったらまず手や顔を洗う。
- 人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- ☐ 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）。

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- ☐ 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- ☐ 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- ☐ 地域の感染状況に注意する。

（２）日常生活を営む上での基本的な生活様式

- ☐ まめに手洗い・手指消毒 ☐ 咳エチケットの徹底
- ☐ こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に） ☐ 身体的距離の確保
- ☐ 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- ☐ 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- ☐ 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



（３）日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- ☐ 通販も利用
- ☐ 1人または少人数ですいた時間に
- ☐ 電子決済の利用
- ☐ 計画をたてて素早く済ます
- ☐ サンプルなど展示品への接触は控えめに
- ☐ レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- ☐ 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- ☐ 筋トレやヨガは、十分に人との間隔を
もしくは自宅で動画を活用
- ☐ ジョギングは少人数で
- ☐ すれ違うときは距離をとるマナー
- ☐ 予約制を利用してゆったりと
- ☐ 狭い部屋での長居は無用
- ☐ 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- ☐ 会話は控えめに
- ☐ 混んでいる時間帯は避けて
- ☐ 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- ☐ 持ち帰りや出前、デリバリーも
- ☐ 屋外空間で気持ちよく
- ☐ 大皿は避けて、料理は個々に
- ☐ 対面ではなく横並びで座ろう
- ☐ 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- ☐ お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

イベント等への参加

- ☐ 接触確認アプリの活用を
- ☐ 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

（４）働き方の新しいスタイル

- ☐ テレワークやローテーション勤務 ☐ 時差通勤でゆったりと ☐ オフィスはひろびろと
- ☐ 会議はオンライン ☐ 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成